

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・教職員は勿論、児童や地域の方々には、学校教育目標に関して8～9割以上、浸透していると思われる。しかしながら保護者の方には、教育目標や教育方針について、半数近くの方にあまり知られていないと読み取れる。発信方法やその工夫が必要であると捉える。</p>
	児童	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校だよりや学校ホームページに記載するだけでなく、学年だより、ホームページへの記載とともに、学校公開や懇談会等を活用し、引き続き丁寧に周知をしていく。</p>
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・学校教育目標や教育方針については、学校だよりや学校ホームページに掲載等されている。学校からの情報発信が少々形式的になってきているとするならば、発信方法の改善が必要なのではないか。 ・発信方法については、要検討だと思う。 ・教育目標は地域に広く発信することは難しいと思う。 ・教育目標や教育方針は、学校としての方針である。地域環境等を合わせ、ホームページ等で発信・遂行されていると思う。 ・教育目標は常々口にしていく必要がある。キャッチーなフレーズも必要か。</p>
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、児童のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・教職員の肯定的評価が85%強に対し、児童、保護者、地域からの評価いずれも70%以上の肯定的評価が得られている。教職員一人一人が日頃から児童を第一に考えた学級経営を実践しているというあらわれであるととらえる。</p>
	児童	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□系列1 □系列2 □系列3 □系列4 □系列5</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>・教職員一人一人が、個の良さや可能性を發揮できるような学級経営を常に念頭に置き、些細な児童の行動に着目できるよう、高いアンテナを常に張りながら教育活動を展開していく。</p>
	保護者	②学校は、児童のよさや可能性を發揮できる学級づくりをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・児童の評価が非常に良く、自己肯定感が高いとともに先生方の学級指導が行き届いている証拠であると考える。 ・保護者に20%強否定的な意見があるとすれば、保護者のケアが必要かもしれない。(児童より保護者に否定的な人がいるようなので) ・個々人の能力を發揮できるよう先生方は授業を行っていると思う。 ・児童の評価は良いが、教職員の評価にまだ伸びしろがあると思う。この伸びしろの部分は大変貴重だと思う。 ・先生方は丁寧に指導されていると思う。</p>
	地域	②学校は、児童のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導①	教職員	③私は、児童が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・教職員の肯定的評価が85%弱に対し、児童、保護者、地域からの評価がいずれも80%以上の肯定的評価が得られている。教職員一人一人が児童の個に応じた学習指導、学び合い学習の推進等、取り組んでいるあらわれであるととらえる。</p>
	児童	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>・さらなる学校研究、校内研修に励みながら、学び合い学習の推進を図り、主体的、対話的で深い学びの実現に務める。</p>
	保護者	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・児童が主体的に学習へ取り組んでいるという点では、概ね高評価であると捉える。 ・リードする児童がいるのが頼もしいと感じる。 ・授業を見学させていただいたが、お互いコミュニケーションを取りながら学んでいる姿に感心した。 ・児童の主体性を重んじて授業に取り組んでいると思う。 ・指導法の改善や先生方の創意工夫の成果であると思う。</p>
	地域	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導②	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・教職員、児童、保護者、地域からの評価がいずれも80%以上の肯定的評価が得られている。ICT機器を使うこと自体に抵抗を感じなくなり、どのように授業で使えば効果的かを模索しているのではないかと捉える。</p>
	児童	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>・ICT機器のより効果的な活用について、情報視聴覚教育主任を中心に校内研修に取り組むとともに、他校での取り組みを積極的に紹介する。</p>
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・タブレットの使い方に注意が必要。視力低下や家庭における長時間の動画視聴等、注意喚起を児童・家庭共に必要である。 ・効果的な使い方をより一層模索する必要がある。 ・好奇心旺盛なところからやむを得ないところもあるが、利用目的、規律の周知が必要であると思う。 ・モニターやタブレットを使う授業を見学させていただいたが、とても上手に授業を進めていた。 ・効果的な活用ができていない児童についても指導をお願いしたい。</p>
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・教職員の評価が若干低いものの、児童、保護者、地域とも、肯定的意見が70%以上である。夏の熱中症対策における運動制限やコロナ禍での運動会縮小実施等、様々な要因により思うように体力向上へと繋がられないことが多かったのではないかととらえる。</p>
	児童	⑤私は、体育や休み時間に、校庭や体育館などでいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の工夫・改善により、十分な運動量を確保できる授業実践を行うとともに積極的な外遊びの励行をする。 ・なかよしタイム等の全校一斉外遊びを実施することにより、運動好きの児童を増やす。 ・家庭での長期休み中における体力貯筋に取り組んでもらい、体力向上に繋げる。 ・体育朝会での指導 ・運動委員会を中心とした体力向上キャンペーンの実施 ・校庭や体育館に体力向上につながる場や教具の設置
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・ゲームや携帯電話等の影響やコロナ禍での家時間により、外遊びをする子が少なくなってきたのではないかと。とするならば、学校生活において、体育の授業だけでなく、休み時間を有意義に使って体力向上に努めてもらいたい。</p> <p>・体力の向上により、免疫力も高まると思うので引き続き努めてもらいたい。</p> <p>・体力向上は期待したい項目である。地域の合同運動会でもう少し活躍していただけると嬉しい。</p> <p>・コロナ禍の関係から運動機会の減少により思うようにできなかったことで体力的に影響があると思う。体力向上への時間を割いて運動への意識の取り組みをお願いしたい。</p> <p>・例えば活動量計などをつけて本当に活動量が減って体力が低下しているのか精査する必要はないか(体力テスト等の数値を見ていないので何とも言えないが)</p>
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導 ①	教職員	⑥私は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・教職員の肯定的評価が90%強に対して、保護者からの肯定的評価が7割を切っている。なかなか十分な教職員・保護者間の密な連携にそれぞれ課題があると考えている表れであると考えられる。</p>
	児童	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>・管理職との連携や、生徒指導担当教諭を中心に、いじめ・トラブルへの組織的対応を図るとともに、保護者とのコミュニケーションを図る際に、どんな些細な事(良し悪し軽重関係なく)学校での児童の様子を伝えるとより効果的ではないか。 ・丁寧な対応(問題発生時やその後の様子、報告等、保護者と密にしておく) ・いじめ等に関する授業実践や公開 ・いじめ防止に関する学校側からの積極的な情報発信や情報提供</p>
	保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・児童、保護者共に他と比較すると評価が低いことが気になる。今一度、先生方にはいじめやトラブルに対する対応を心掛けていただきたい。 ・学校での児童の様子を伝えるとより効果的ではないか。話を受け止める姿勢も大切である。(傾聴) ・学校内に訪問した際には、そのようなトラブルは見受けられず、良好な関係が築けられていると感じた。 ・いじめやトラブルの早期発見をお願いしたい。</p>
	地域	⑥学校は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導②	教職員	⑦私は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの肯定的評価が、教職員・児童・地域と比較すると低いが、児童の85%以上が肯定的に評価をしていることから、教職員の指導が、児童へと行き渡っていると考え。保護者へ周知する手段を検討すべきと考える。
	児童	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会や学年だより等で保護者に対して、学校での児童の様子を丁寧に発信していくとともに、学校生活において些細なことでも児童への称賛を忘れないよう教育活動に取り組む。 ・日々の授業の中や指導の中で、児童に自信を持たせたり、自分の良さに気付いたりする活動を意図的に取り入れる。 ・児童の頑張りを保護者に見てもらえる機会を設け、家庭でも「褒められた」「認められた」と実感できるようにする。 ・児童が主体的に参加できる交流活動や体験活動などを積極的に取り入れる。
	保護者	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方は頑張っていると思う。その証拠に児童の多くは高評価である。それらの頑張っている児童の様子を家庭へどんどん発信してはどうか。 ・サポートの先生もいたり、課外授業もされていたりしているのを見て、児童のフォロー等しっかりやっているように感じた。 ・得意、不得意はそれぞれあることから、6年間のスパンで先生方は対応、発信していると思う。 ・子供たちの何が、どのようによかったのか、先生方が頑張っている成果もうかがえる。
	地域	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。		

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・教職員の肯定的評価が85%以上に対し、保護者の肯定的評価が65%強と、地域、児童の肯定的評価と15%前後の差があった。家庭との連携に課題があると考ええる。</p>
	児童	⑧私は、苦手なことなどを、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。		<p>課題解決への方策</p> <p>・一人一人の児童の個に応じた教材・教具の工夫改善を行う。また、家庭への電話連絡や校務支援システムの連絡帳機能を使った保護者とのコミュニケーションを図る際には、児童の学校生活について、どんな些細な事(良し悪し軽重関係なく)様子を伝えるとより効果的ではないか。</p>
	保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・特性をもっている児童がまだまだ普通学級にいて、それらの対応についても家庭との連携が不可欠である。 ・多様な子供たちの理解に努めておられると感じている。保護者が多様性を理解できるとよいと思う。 ・一人一人の特性に合わせた指導は難しいと思うが、サポートの先生も入りながら、よく対応してくれていると思う。</p>
	地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
地域とともにある学校	教職員	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	18%	②	68%	③	9%	④	5%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・保護者の肯定的評価が6割を切っていることから、各家庭の生活状況が複雑且つ多様化してきている。協力、連携が大切なことであることは理解しているが、現状難しい状況であるととらえる。</p>
	評価項目	割合														
	①	18%														
	②	68%														
③	9%															
④	5%															
⑤	0%															
児童				<p>課題解決への方策</p> <p>・できるときに参加できるようなボランティア活動体制の構築が必要である。そのためには、学校運営協議会や学校応援団の活動について、学校ホームページや学校だより等を使って発信していく。</p>												
保護者	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>9%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	15%	②	45%	③	28%	④	3%	⑤	9%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・コロナも明けたので、学校も積極的な地域連携を行ってほしい。 ・地域の団体と徐々に交流を進めつつある。保護者がもう少し参加できるようになるとよいと思う。 ・課外授業を地域関係箇所との連携により進めてはと思う。(地域支え合い協議会・里山サポート等) ・杉下小の地域の皆様や学校の先生方はとても協力的ですばらしいと思う。</p>	
評価項目	割合															
①	15%															
②	45%															
③	28%															
④	3%															
⑤	9%															
地域	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>43%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>7%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	50%	②	43%	③	0%	④	7%				
評価項目	割合															
①	50%															
②	43%															
③	0%															
④	7%															

杉下小学校

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の75%が肯定的評価をしていることから、働き方改革の推進は徐々にではあるが進んでいると捉える。一方、否定的評価が20%強いることから、業務がある一定の職員に偏ってはいないか、業務削減だけが働き方改革であるという間違った認識をしてはいないか、今一度目的の理解をする必要があると考える。
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の本来の意図と目的や意味、主旨を再認識する。 ・県の具体的な取り組みなどを参考にして、できることを取り入れていく。 ・教科主任が一人で抱え込まないよう、教科担当教職員が組織的に動く。 ・学級運営補助員や学習支援員、スクールサポートスタッフへの業務依頼について精査できるとよいのではないかな。
	保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中で効率的に仕事ができるよう、ICT機器等の活用の土壌を作りつつ、保護者、地域との連携を大切にし、教職員でなくとも大丈夫な部分を、PTAや保護者、学校応援団等に積極的に手伝ってもらうことが大切であると考え。 ・大学生の活用もしていただけるとよいと思う。 ・まだまだ教職員の負担が多いように思う。一方でコロナ禍以前の事業がなくなり、結びつきが減ってきているように感じる。
	地域			